

This Page Is Inserted by IFW Operations
and is not a part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning documents *will not* correct images,
please do not report the images to the
Image Problem Mailbox.



PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11) Publication number: **09034841 A**(43) Date of publication of application: **07.02.97**

(51) Int. Cl.

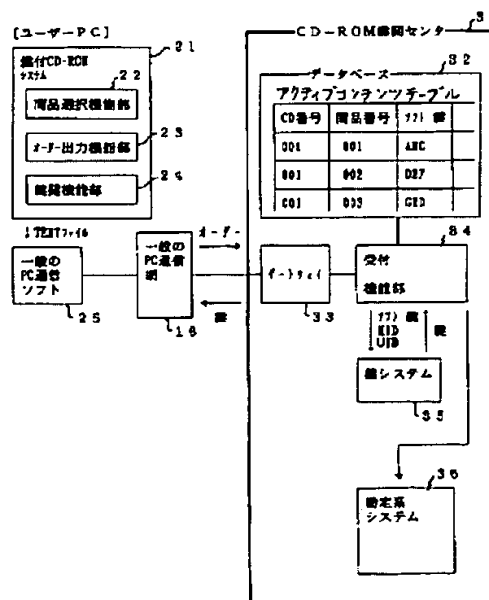
G06F 15/00**G06F 1/00****G06F 9/06****G06F 12/14****G06F 13/00****G09C 1/00****G09C 1/00****H04L 9/10****H04M 11/08**(21) Application number: **07186038**(22) Date of filing: **21.07.95**(71) Applicant: **FUJITSU LTD**(72) Inventor: **OKI HIROSHI
TANIGAWA KIOZUMI
KAMATA SHINJI****(54) ON-LINE CIPHERING RELEASING SYSTEM OF
STORAGE MEDIUM AND ITS METHOD**

COPYRIGHT: (C)1997,JPO

(57) Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To release ciphering of a software in on-line to sell information in a storage medium such as a CD-ROM distributed to the user.

SOLUTION: The user loads a distributed keyed CD-ROM to a keyed CD-ROM system 21, an article selection function section 22 selects a software article, and an order output function section 23 generates an order use text file. Then a CD-ROM key open center 31 is accessed via a PC communication network 16 and a gateway 33 and gives a text file to order an article. A reception function section 34 retrieves a CD number and an article number of an active contents table and reads a corresponding software key. A key system 35 generates a key number of the order article from the read software key and a MID described in the text file. The generated key number is reported to the user via a PC communication network 16, a key function section 24 uses it to open the key of the article in the CD-ROM. Thus, the information in the CD-ROM is on sale in on-line.



特開平 9 - 3 4 8 4 1

(43) 公開日 平成 9 年 (1997) 2 月 7 日

(51) Int. Cl. ⁶	識別記号	序内整理番号	F I	技術表示箇所		
G06F 15/00	330	9364-5L	G06F 15/00	330	Z	
1/00	370		1/00	370	F	
				370	E	
9/06	550		9/06	550	A	
12/14	320		12/14	320	B	

審査請求 未請求 請求項の数 23 O L (全 28 頁) 最終頁に続く

(21) 出願番号 特願平 7 - 1 8 6 0 3 8

(22) 出願日 平成 7 年 (1995) 7 月 2 1 日

特許法第 30 条第 1 項適用申請有り 平成 7 年 7 月 7 日
発行の日本経済新聞に掲載

(71) 出願人 0 0 0 0 0 5 2 2 3

富士通株式会社

神奈川県川崎市中原区上小田中 4 丁目 1 番
1 号

(72) 発明者 沖 宏志

神奈川県川崎市中原区上小田中 1 0 1 5 番
地 富士通株式会社内

(72) 発明者 谷川 清純

神奈川県川崎市中原区上小田中 1 0 1 5 番
地 富士通株式会社内

(72) 発明者 鎌田 紳二

神奈川県川崎市中原区上小田中 1 0 1 5 番
地 富士通株式会社内

(74) 代理人 弁理士 大菅 義之 (外 1 名)

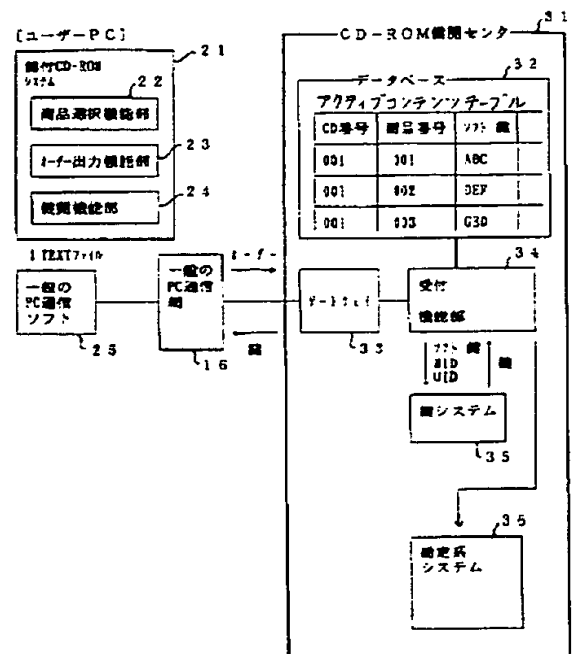
(54) 【発明の名称】 記憶媒体のオンライン暗号解除システムおよび方法

(57) 【要約】

【目的】 ユーザに配布された CD-ROM 等の記憶媒体内の情報を販売するために、オンラインでソフトウェアの暗号解除を行うことを目的とする。

【構成】 ユーザは、配付された鍵付 CD-ROM を鍵付 CD-ROM システム 21 に装着して、商品選択機能部 22 によりソフトウェア商品を選択し、オーダー出力機能部 23 によりオーダー用のテキストファイルを作成する。次に、PC 通信網 16、ゲートウェイ 33 を介して CD-ROM 鍵開センター 31 にアクセスし、テキストファイルを渡して商品をオーダーする。受付機能部 34 は、アクティブコンテンツテーブルの CD 番号、商品番号を検索し、対応するソフト鍵を読み出す。鍵システム 35 は、読み出されたソフト鍵とテキストファイルに記述された MID とから、オーダー商品の鍵番号を生成する。生成された鍵番号は PC 通信網 16 を介してユーザに通知され、鍵開機能部 24 がこれを用いて CD-ROM 内の商品の鍵開けを行う。このようにして、CD-ROM 内の情報をオンラインで販売することが可能となる。

システム構成図



1

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 通信網を介してユーザ端末との間で情報の送受信を行う通信手段と、

前記ユーザ端末から会話形式で受信するオーダー情報に基づいて、ユーザの記憶媒体内の暗号化された情報の暗号を、前記通信手段を介してオンラインで解除する会話手段とを備えることを特徴とするオンライン暗号解除システム。

【請求項 2】 前記会話手段は、前記オーダー情報に基づいて、ユーザの鍵付記憶媒体に格納された情報を該ユーザ端末上で取り出すための第 1 の鍵情報を、前記通信手段を介してオンラインで該ユーザ端末に送ることを特徴とする請求項 1 記載のオンライン暗号解除システム。

【請求項 3】 前記鍵付記憶媒体に格納された情報固有の第 2 の鍵情報を格納する情報格納手段をさらに備え、前記会話手段は、前記オーダー情報をもとに前記情報格納手段内を検索し、オーダーされた情報に対応する第 2 の鍵情報を取り出し、該第 2 の鍵情報を用いて生成された前記第 1 の鍵情報を前記ユーザ端末に送ることを特徴とする請求項 2 記載のオンライン暗号解除システム。

【請求項 4】 前記オーダー情報に含まれる前記ユーザ端末の識別情報と前記第 2 の鍵情報とから、前記第 1 の鍵情報を生成する鍵生成手段をさらに備えることを特徴とする請求項 3 記載のオンライン暗号解除システム。

【請求項 5】 前記オーダー情報に含まれるユーザ識別情報と前記第 2 の鍵情報とから、前記第 1 の鍵情報を生成する鍵生成手段をさらに備えることを特徴とする請求項 3 記載のオンライン暗号解除システム。

【請求項 6】 前記オーダー情報に含まれるユーザ識別情報と前記ユーザ端末の識別情報と、前記第 2 の鍵情報とから、前記第 1 の鍵情報を生成する鍵生成手段をさらに備えることを特徴とする請求項 3 記載のオンライン暗号解除システム。

【請求項 7】 前記会話手段は、前記オーダー情報を前記ユーザ端末から電子メールで受け取り、前記第 1 の鍵情報を該ユーザ端末へ電子メールで送ることを特徴とする請求項 2 記載のオンライン暗号解除システム。

【請求項 8】 前記会話手段は、前記ユーザ端末に送った前記第 1 の鍵情報をユーザに入力させる指示を出力し、入力された鍵情報を確認することができることを特徴とする請求項 2 記載のオンライン暗号解除システム。

【請求項 9】 前記記憶媒体は C D - R O M であることを特徴とする請求項 1 記載のオンライン暗号解除システム。

【請求項 10】 前記会話手段は、複数の項目からなる前記オーダー情報を、前記ユーザ端末からファイル形式で受け取ることを特徴とする請求項 1 記載のオンライン暗号解除システム。

【請求項 11】 前記会話手段は、複数の項目からなる前記オーダー情報を、前記ユーザ端末から手入力形式で

2

受け取ることを特徴とする請求項 1 記載のオンライン暗号解除システム。

【請求項 12】 前記会話手段は、前記オーダー情報の複数の項目のうち既知の項目については、前記ユーザに人力を省略させることができることを特徴とする請求項 1 記載のオンライン暗号解除システム。

【請求項 13】 前記記憶媒体に格納された情報毎のコメントを格納する情報格納手段をさらに備え、前記会話手段は、前記記憶媒体に格納された情報毎のメッセージを出力できることを特徴とする請求項 1 記載のオンライン暗号解除システム。

【請求項 14】 鍵付記憶媒体を装着する手段と、通信網を介して鍵開けセンタにアクセスし、該鍵開けセンタとの会話形式で前記鍵付記憶媒体に格納された情報を選択して、該鍵開けセンタに対してオーダー情報を出力するオーダー出力手段と、

選択された情報を前記鍵付記憶媒体から取り出すための第 1 の鍵情報を、前記鍵開けセンタから前記通信網を介してオンラインで受け取り、該第 1 の鍵情報を用いて前記鍵付記憶媒体から前記選択された情報を取り出す鍵開け手段とを備えることを特徴とする端末装置。

【請求項 15】 前記オーダー出力手段は、複数の項目からなる前記オーダー情報をファイル形式で出力することを特徴とする請求項 14 記載の端末装置。

【請求項 16】 前記オーダー出力手段は、複数の項目からなる前記オーダー情報を項目毎に出力することを特徴とする請求項 14 記載の端末装置。

【請求項 17】 前記鍵開け手段は、前記鍵開けセンタから受け取った前記第 1 の鍵情報が記録されたファイルを自動的に読み込んで、該ファイルから該第 1 の鍵情報を取り出すことを特徴とする請求項 14 記載の端末装置。

【請求項 18】 前記鍵開け手段は、前記鍵開けセンタから受け取った前記第 1 の鍵情報を自動的に前記ファイルに格納するオートパイロット手段を備えることを特徴とする請求項 17 記載の端末装置。

【請求項 19】 通信網を介して鍵開けセンタにアクセスし、該鍵開けセンタとの会話形式で鍵付記憶媒体に格納された情報を選択して、該鍵開けセンタに対してオーダー情報を出力するオーダー出力手段と、

選択された情報を前記鍵付記憶媒体から取り出すための第 1 の鍵情報を、前記鍵開けセンタから前記通信網を介してオンラインで受け取り、該第 1 の鍵情報を用いて前記鍵付記憶媒体から前記選択された情報を取り出す鍵開け手段とを備えることを特徴とする記憶媒体。

【請求項 20】 ユーザ端末と鍵開けセンタとを通信網で接続した通信システムにおいて、

前記通信網を介して前記鍵開けセンタにアクセスし、鍵付記憶媒体に格納された情報を会話形式で選択して、該鍵開けセンタに対してオーダー情報を送信するオーダー

10

20

30

40

50

出力手段と、

前記オーダー出力手段から会話形式で受信する前記オーダー情報に基づいて、選択された情報を前記ユーザ端末上で前記鍵付記憶媒体から取り出すための第 1 の鍵情報を、前記通信網を介してオンラインで該ユーザ端末に送信する会話手段と前記会話手段から受信した前記第 1 の鍵情報を用いて、前記鍵付記憶媒体から前記選択された情報を取り出す鍵開け手段とを備えることを特徴とするオンライン暗号解除システム。

【請求項 2 1】 記憶媒体を装着したユーザ端末から通信網を介してオーダー情報を受信し、

該オーダー情報に基づいて、前記記憶媒体に格納された暗号化された情報の暗号を、前記通信手段を介してオンラインで解除することを特徴とするオンライン暗号解除方法。

【請求項 2 2】 鍵付記憶媒体を装着した前記ユーザ端末から受信する前記オーダー情報に基づいて、該鍵付記憶媒体に格納された情報を該ユーザ端末上で取り出すための第 1 の鍵情報を生成し、

該第 1 の鍵情報を前記通信網を介してオンラインで前記ユーザ端末に送ることを特徴とする請求項 2 1 記載のオンライン暗号解除方法。

【請求項 2 3】 ユーザ端末に鍵付記憶媒体を装着し、通信網を介して鍵開けセンタにアクセスし、該鍵開けセンタとの会話形式で前記鍵付記憶媒体に格納された情報を選択して、該鍵開けセンタに対してオーダー情報を送信し、

選択された情報を前記鍵付記憶媒体から取り出すための第 1 の鍵情報を、前記鍵開けセンタから前記通信網を介してオンラインで受け取り、

該第 1 の鍵情報を用いて前記鍵付記憶媒体から前記選択された情報を取り出すことを特徴とするオンライン暗号解除方法。

【発明の詳細な説明】

【 0 0 0 1 】

【産業上の利用分野】本発明は、ユーザに配布した記憶媒体内のソフトウェアの暗号をオンラインで解除する暗号解除システムおよび方法に関する。

【 0 0 0 2 】

【従来の技術とその問題点】近年、大容量記憶媒体の 1 つである C D - R O M (compact disk read only memory) にプログラム、画像データ等のソフトウェアを入れて販売することが多くなっている。ユーザが C D - R O M を入手するには、直接販売店で購入したり、あるいは郵送による通信販売を利用して購入する方法がある。しかしながら、前者の方法ではユーザが販売店まで出向いて行かなければならず、後者の方法ではオーダーしてから商品がユーザの手元に届くまでに一定の時間を要する。

【 0 0 0 3 】そこで、C D - R O M をあらかじめユーザ

に配布しておくことが考えられるが、その場合どのようにして販売するかが問題となる。本発明は、ユーザに配布された C D - R O M 等の記憶媒体内の情報を販売するために、オンラインでソフトウェアの暗号を解除する暗号解除システムおよび方法を提供することを目的とする。

【 0 0 0 4 】

【問題を解決するための手段】図 1 は、本発明のオンライン暗号解除システムの原理図である。図 1 のオンライン鍵開けシステムは、通信手段 1、会話手段 2、鍵生成手段 3、および情報格納手段 4 を備える。

【 0 0 0 5 】通信手段 1 は、通信網を介してユーザ端末との間で情報の送受信を行う。会話手段 2 は、上記記ユーザ端末から会話形式で受信するオーダー情報に基づいて、ユーザの記憶媒体内の暗号化された情報の暗号を、通信手段 1 を介してオンラインで解除する。

【 0 0 0 6 】また、会話手段 2 は、上記オーダー情報に基づいて、ユーザの鍵付記憶媒体に格納された情報をそのユーザ端末上で取り出すための第 1 の鍵情報を、通信手段 1 を介してオンラインでそのユーザ端末に送る。

【 0 0 0 7 】情報格納手段 4 は、上記記憶媒体に格納された情報固有の第 2 の鍵情報を格納する。会話手段 2 は、上記オーダー情報をもとに情報格納手段 4 内を検索し、オーダーされた情報に対応する第 2 の鍵情報を取り出す。

【 0 0 0 8 】鍵生成手段 3 は、上記オーダー情報に含まれるユーザ識別情報または上記ユーザ端末の識別情報と、上記第 2 の鍵情報とから、上記第 1 の鍵情報を生成する。例えば、図 1 の通信手段 1 は、実施例の図 3 におけるゲートウェイ 3 3 に対応し、会話手段 2 は受付機能部 3 4 に対応し、鍵生成手段 3 は鍵システム 3 5 に対応し、情報格納手段 4 はデータベース 3 2 に対応する。また、例えば、記憶媒体は鍵付 C D - R O M に対応し、ユーザ端末は、鍵付 C D - R O M システム 2 1 を備えるパソコン (パーソナルコンピュータ: P C) に対応する。

【 0 0 0 9 】

【作用】図 1 のオンライン暗号解除システムは、例えば、通信網を介してユーザ端末と接続されたホスト計算機システムに相当し、ユーザからの希望に応じて、ユーザ端末に装着された C D - R O M 等の記憶媒体の暗号解除サービスを行う。

【 0 0 1 0 】会話手段 2 は通信手段 1 を介してユーザ端末との間で対話を行い、ユーザが購入を希望するソフトウェアのオーダー情報を会話形式で受信する。そして、そのオーダー情報に基づいて、鍵付記憶媒体に格納されたソフトウェア (情報) を取り出すための第 1 の鍵情報を、オンラインでユーザ端末に送る。

【 0 0 1 1 】これにより、ユーザは、送られた第 1 の鍵情報を用いてユーザ端末上でオーダーしたソフトウェアの鍵を開け、ハードディスク等にインストールすること

ができるようになる。また、ホスト計算機システムでは、ユーザの識別情報とオーダーされたソフトウェアの識別情報を記憶しておき、それらに基づいて代金を請求することが可能になる。

【 0 0 1 2 】 また、情報格納手段 4 が格納する第 2 の鍵情報は、鍵付記憶媒体に格納されたソフトウェアに固有のソフト鍵であり、アクセスしてきたユーザの識別情報やユーザ端末の識別情報には依存しない。会話手段 2 は、オーダー情報に含まれるソフトウェアの識別情報をもとにして、対応する第 2 の鍵情報を情報格納手段 4 から取り出し、それを鍵生成手段 3 に渡す。

【 0 0 1 3 】 鍵生成手段 3 は、会話手段 2 から受け取った第 2 の鍵情報と、オーダー情報に含まれるユーザ識別情報またはユーザ端末の識別情報とから、ユーザに通知する第 1 の鍵情報を合成する。こうして生成された第 1 の鍵情報は、第 2 の鍵情報をソフト鍵として持つソフトウェアを、オーダー情報を送信したユーザ端末上で読み出すために必要な複合鍵となっている。

【 0 0 1 4 】 例えば、ユーザ識別情報と第 2 の鍵情報から合成された第 1 の鍵情報を使用して鍵開けを行うと、ユーザ識別情報に対応するユーザに対して自動的に課金されるようにすることができる。したがって、そのユーザ以外の他人が使用すると不具合が生じる。また、ユーザ端末の識別情報と第 2 の鍵情報から合成された第 1 の鍵情報は、対応するユーザ端末上でのみ使用することができる。したがって、同じソフトウェアを異なるユーザ端末上で読み出すために、これを使用することはできない。

【 0 0 1 5 】 こうして、ユーザは配布された記憶媒体内の希望するソフトウェアの暗号を、オンラインで解除し

【 0 0 1 6 】

【実施例】 以下、図面を参照しながら本発明の実施例を詳細に説明する。図 2 は、CD-ROM に記憶されたソフトウェア (CD-ROM ソフト) の販売形態を示している。CD-ROM ソフトを販売しようとする販売会社は、CD-ROM 鍵開セクタ 1 4 を設け、データベース 1 1、1 2、1 3 により情報を管理する。コンテンツ提供者は販売会社と販売委託契約を結び、CD-ROM ソフトの内容 (コンテンツ) となる絵 / 写真 / 音楽等を販売会社に提供する。販売会社内のコンテンツ収集部門は、受け取ったコンテンツを電子情報の倉庫として使用するデータベース 1 1 に格納する。そして、販売会社は、例えば社外の企画部門による編集企画に基づいて、データベース 1 1 からコンテンツを取り出し、CD-ROM 1 7 を作成する。

【 0 0 1 7 】 こうして発行された CD-ROM 1 7 は、配送者により NIFTY 会員であるユーザに配布される。ユーザは、パソコン上で CD-ROM 1 7 内の商品リストを見た後、パソコン通信の通信網 1 6、および N

I F T Y セクタ 1 5 を介して、CD-ROM 鍵開セクタ 1 4 にゲートウェイ接続し、商品である CD-ROM ソフトをオーダーする。CD-ROM 鍵開セクタ 1 4 は、オーダーされた商品の鍵をオンラインでユーザに渡すとともに、販売記録をデータベース 1 2、1 3 に格納する。データベース 1 2、1 3 は、それぞれ売上管理 DB (データベース)、顧客管理 DB として使用される。ここでは、CD-ROM 鍵開セクタ 1 4 は、年中無休、24 時間体制で稼働しているものとする。

【 0 0 1 8 】 販売会社の経理 / 購買部門は、データベース 1 2 内の売上情報を参照して、売上分配および経理処理を行う。このとき、コンテンツ提供者には契約に基づいてペイ・バックが行われ、コンテンツ収集部門と企画部門には編集・企画代金が計上される。図 3 は、図 2 のような販売形態を実現するためのシステムの構成図である。図 3 において、ユーザのパソコン (ユーザ PC) には、商品選択機能部 2 2、オーダー出力機能部 2 3、および鍵開機能部 2 4 を備える鍵付 CD-ROM システム 2 1 が搭載される。鍵付 CD-ROM システム 2 1 は、ユーザによって鍵付 CD-ROM 1 7 からユーザ PC にインストールされると、そのユーザ PC を特定するマシン識別子 (MID) を生成し、不正コピー防止機構を付加してファイルに記録する。鍵付 CD-ROM システム 2 1 は、一般の通信端末ソフト (PC 通信ソフト) 2 5、一般の PC 通信網 1 6 を介して、CD-ROM 鍵開セクタ 3 1 に接続される。

【 0 0 1 9 】 CD-ROM 鍵開セクタ 3 1 は、データベース 3 2、ゲートウェイ 3 3、受付機能部 3 4、鍵システム 3 5、勘定系システム 3 6 を備える。受付機能部 3 4、鍵システム 3 5、および勘定系システム 3 6 は、例えば CD-ROM 鍵開セクタ 3 1 を構成するホスト計算機のプロセッサ (不図示) の処理機能に対応している。データベース 3 2 は、アクティブコンテンツテーブル、購入履歴テーブル、アクティブ顧客テーブル、課金ログテーブル、エラーログテーブル、アクセスログテーブル等の管理テーブルを格納する。

【 0 0 2 0 】 ユーザは配付された鍵付 CD-ROM 1 7 を使用して、商品選択機能部 2 2 により商品を選択し、オーダー出力機能部 2 3 によりオーダーファイルとなるテキスト (TEXT) ファイルを作成する。次に、PC 通信ソフト 2 5 を用いて PC 通信網 1 6 に接続し、ゲートウェイ 3 3 で CD-ROM 鍵開セクタ 3 1 にアクセスし、オーダーファイルを渡して商品をオーダーする。このとき、ユーザは、CD 番号、商品番号とともに、ユーザ識別子 (UID) および MID を暗号化して、CD-ROM 鍵開セクタ 3 1 に通知する。これらの番号と暗号化された UID、MID は、鍵付 CD-ROM システム 2 1 によってオーダーファイル内に一緒に記録されている。

【 0 0 2 1 】 CD-ROM 鍵開セクタ 3 1 では、受付機

能部34が受け取ったオーダーファイルに従い、アクティブコンテンツテーブルのCD番号、商品番号を検索し、対応するソフト鍵を読み出す。次に、読み出したソフト鍵とオーダーファイルに記述されたUIDおよびMIDとを、鍵システム35に渡す。鍵システム35は、ソフト鍵をUIDとMIDのいずれか片方、あるいは両方を用いて暗号化し、オーダー商品の鍵番号を生成する。そして、受付機能部34は、鍵システム35が生成した鍵番号をPC通信網16を介してユーザに通知する。勘定系システム36は、受付機能部34と連携して商品の代金に関する計算処理を行う。

【0022】一方、ユーザは、CD-ROM鍵開センタ31から通知された鍵を記憶しておき、鍵付CD-ROMシステム21の鍵開機能部24を用いて、CD-ROM17内の商品の鍵開けを行う。このとき、鍵開機能部24は、ユーザが入力した鍵番号をユーザのUIDとユーザPCのMIDで復号し、オーダー商品のソフト鍵を手して商品を復号した後、ユーザPCに導入する。これにより、はじめてユーザは商品をインストールし、使用することが可能となる。

【0023】このように、ソフト鍵をユーザPCのMIDで暗号化しておけば、その鍵はMIDに対応するユーザPC上でしか使用することはできない。したがって、他のパソコン上で不正に使用されることが防止できる。また、ソフト鍵をUIDで暗号化しておけば、その鍵が使用された時に、UIDをもとにして商品の代金を自動的にユーザに課金することができる。このことをあらかじめ各ユーザに通知しておけば、他のユーザに不正に転用されることが防止できる。さらに、MIDとUIDの両方で暗号化しておけば、これらの両方の防止効果が期待できる。

【0024】図4、5、6はCD-ROM鍵開センタ31によるCD-ROM鍵開処理のフローチャートであり、図7、8、9、10、11は一般のPC通信ソフト25でアクセスした時のユーザPCの画面イメージを示している。ここでは、PC通信ソフト25の一例として秀TERMを用いている。

【0025】図4において処理が開始されると、受付機能部34は、まずユーザID（UID）をチェックする（ステップS1）。そのユーザIDに対応するアクティブ顧客テーブルの登録フラグがBなら、そのユーザはブラックリスト上の顧客であるので、メッセージを出してEXITする（ステップS2）。そうでなければ、ソフトの購入か、既購入ソフトの表示か、EXITかをユーザに問い合せる（ステップS3）。

【0026】ここでは、例えば図7のような画面が表示される。図7においては、まずメニューからユーザが、CD-ROMソフトの販売サービスに対応するMedia Shuttleを選択し、Media Shuttle開始のメッセージに続いて、導入キーNo.の取得、作品の一覧表示、および終

りの3つの選択肢が表示される。

【0027】次に、ユーザがEXITを選ぶと処理を終了し、既購入ソフトの表示を選ぶと、そのユーザが過去に購入したソフトを最新のものから10行ずつ表示する（ステップS4）。そして、ユーザが途中で止めない限り、最後まで表示する。ユーザが購入を選んだ場合は、オープニングメッセージを出力し（ステップS5）、オーダーファイルの入力条件を確認する（ステップS6）。

【0028】ユーザが入力方法としてアップロードを選ぶと、入力を促すメッセージを出力し（ステップS7）、入力終了待ちをする（ステップS8）。そして、入力が終了すると、パース処理を行って入力されたオーダーファイルを解説する（ステップS9）。パース不可能の時は再度入力を促す。オーダーファイル（オーダーシート）のNIFTY-IDとログインNIFTY-IDが異なる場合は、メッセージを出して*START（ステップS3）にもどる。ここで、ログインNIFTY-IDとは、NIFTYセンタ15にログインした時にユーザが受け取る識別子を指す。

【0029】ユーザが入力方法として手入力を選ぶと、入力を促すメッセージを出力し（ステップS10）、ユーザがメッセージを確認すると（ステップS11）、次の入力を促すメッセージを出力する。このような処理を、必要な項目の入力がすべて終了するまで繰り返す。このとき、オーダーシートのNIFTY-IDとログインNIFTY-IDが異なる場合は、メッセージを出して*STARTにもどる。また、アクティブ顧客テーブルを見て、そのユーザが既アクセス者の場合は、名前や電話番号等の既知情報を表示し、その入力を省略させることもできる。

【0030】図7では、テキストアップロードが選ばれ、例えば図8に示すような導入ファイルがオーダーファイルとして、テキストモードでアップロードされる。図8において、NIFTY-IDがUIDに対応し、CD番号は配布したCD-ROMの識別番号を表し、アクセス番号はユーザPCのMIDのミキシング結果（暗号化されたMID）を表し、作品番号1および作品番号2はオーダーする商品番号を表す。また、オーダーファイルの表示に続いて、ユーザがオーダーファイルの修正を選択し、名前を一部修正している。

【0031】次に、受付機能部34はアンケートデータの入力をユーザに指示する（図5、ステップS12）。ただし、アンケートデータの入力は、各ユーザの最初のアクセス時のみでよい。そして、オーダーシートの内容を確認する（ステップS13）。

【0032】図9は、アンケートデータの入力の例を示している。図9では、生年月日、性別、使用パソコンの種類、クレジットカードの種別がアンケートデータとして入力され、オーダーされた2つの商品のうち、最初の

作品番号の確認が行われている。

【 0 0 3 3 】次に、受付機能部 3 4 はオーダー商品の合計金額を計算し（ステップ S 1 4）、アクティブコンテンツテーブルによるオーダーシートのチェックを行う（ステップ S 1 5）。その結果、販売形態違反があった場合はエラーとしてエラーメッセージを出力し、再度入力か E X I T を選択させる（ステップ S 1 6）。そして、エラーログテーブルにエラーログを出力する。再度入力する場合、単一オーダーの時は * S T A R T にもどり、複数 O R D E R の時は N G 分をスキップする。例えば、オーダー商品がアクティブコンテンツテーブルに登録されていない時は、「該当のソフトはありません。」というエラーメッセージが出力され、緊急停止フラグがあったら、「該当のソフトは現在取り扱っていません。」というエラーメッセージが出力される。また、オーダー商品が販売開始/終了期間内にない時は、「該当のソフトは期限外です。」というエラーメッセージが出力される。ただし、該当のソフトがない時でも、再販区分が“1”で、なおかつ再販期間内であれば、正常系にもどる。

【 0 0 3 4 】次に、与信フラグが“0”または“1”であれば、アクティブ顧客テーブルを参照して、課金上限（M A X）をチェックする（ステップ S 1 7）。最初の N G の場合はメッセージを出して * S T A R T にもどり、2 回目以降の N G の場合は課金ログ出力処理にジャンプする。

【 0 0 3 5 】次に、アクティブ顧客テーブルを更新する（ステップ S 1 8）。ここでは、N I F T Y - I D を K E Y として、アクティブ顧客テーブルをアップデートする。そして、受付機能部 3 4 からの指示により、鍵システム 3 5 がユーザに渡す鍵を生成する（図 6、ステップ S 1 9）。アクセス番号不良等により鍵が生成できない場合は、エラーメッセージを出力し、再度入力か E X I T を選択させる（ステップ S 2 0）。そして、エラーログテーブルにエラーログを出力する。再度入力する場合、単一オーダーの時は * S T A R T にもどり、複数 O R D E R の時は N G 分をスキップする。

【 0 0 3 6 】次に、受付機能部 3 4 は購入履歴テーブルを更新し（ステップ S 2 1）、ユーザに生成した鍵を通知して（ステップ S 2 2）、課金ログテーブルを更新する（ステップ S 2 3）。ただし、与信フラグ=T の場合は、課金ログテーブルを更新しない。

【 0 0 3 7 】次に、通知した鍵をユーザに確認させ（ステップ S 2 4）、オーダーシートに記された次の商品について、ステップ S 1 3 以降の処理を繰り返す。何等かの事情でユーザが途中で購入を断念する場合は、「課金はされる。XXXX（システム運用者の N I F T Y - I D）あてに電子メールを」というエラーメッセージを出力し、エラーログテーブルにエラーログを出力する（ステップ S 2 5）。複数オーダーの場合は、ユーザがここ

で抜けることもできる。

【 0 0 3 8 】図 9 で確認した作品番号の商品に対しては、図 1 0 に示す導入キー No. が鍵としてユーザに通知される。図 1 0 では、ユーザが確認のため通知された導入キー No. を鍵開機能部 2 4 を用いて入力し、C D - R O M 鍵開センタ 3 1 の受付機能部 3 4 がそれを確認している。続いて、2 番目の作品番号の確認が行われ、対応する導入キー No. が通知されている。

【 0 0 3 9 】オーダーシートに記されたすべての商品について鍵の通知と確認が終了すると、次に、メッセージ（購入伝票）を出力し（ステップ S 2 6）、終了メッセージを出力して（ステップ S 2 7）、* S T A R T にもどる。そして、ステップ S 3 でユーザが E X I T を選択すると処理を終了する。

【 0 0 4 0 】図 1 1 は、購入伝票および終了メッセージの表示例を示している。図 1 1 において、鍵の代金（導入代金）は N I F T Y - S E R V E の使用料金に加算されることが明示されている。

【 0 0 4 1 】ステップ S 6 で、商品のオーダーシートをアップロードという方法ではなく、手で直接入力することをユーザが選択した場合は、ユーザ P C の表示画面は図 1 2、1 3、1 4 に示ようになる。図 1 2、1 3 において、N I F T Y - I D、ユーザの名前、C D 番号、アクセス番号、生年月日、性別、使用パソコンの機種、クレジットカードの種別、オーダーする作品番号が順に会話形式で入力されている。そして、入力された C D 番号、作品番号、およびアクセス番号に応じて、導入キー No. が図 1 4 のように通知される。

【 0 0 4 2 】このとき、既にアクセスしたことのあるユーザの場合は、図 1 5 に示すように既知情報の入力作業が省略される。図 1 5 においては、P C 通信 I D である N I F T Y - I D だけを入力させて、名前、住所、C D 番号、アクセス番号は、既入力のものを表示している。そして、ユーザが作品番号を入力・確認すると、図 1 4 と同様にして導入キー No. が通知される。

【 0 0 4 3 】図 3 のシステムにおいては、オーダーを一般の P C 通信により処理しているが、代わりに電子メールシステムで処理することもできる。この場合は、オーダー用の送信メールおよび導入キー No. 通知用の受信メールを、例えば図 1 6 のような形式とする。この方式によると、C D - R O M 鍵開センタ 3 1 にアクセスするために P C 通信センタ（N I F T Y センタ）のメニューの T R E E 構造をたどる必要がなく、効率よく鍵の受渡しができる。また、図 3 のシステムでは、アクティブコンテンツテーブルにソフト毎の情報を格納することにより、作品番号の確認を行う際にソフト毎に個別のメッセージを出力することができる。

【 0 0 4 4 】図 1 7 は、データベース 3 2 内のアクティブコンテンツテーブルに設けられた、ソフト毎の情報を格納するコメント欄を示している。鍵付 C D - R O M 1

7においては、CD-ROM編集の時点からCD-ROM配付までの間にタイムラグがあるため、その期間内にソフトがバージョンアップされる可能性がある。このような場合に、図17に示すように、「本ソフトは既にバージョンアップ済」という情報をコメント欄に書込んでおけば、そのソフトがオーダーされた時、対応するメッセージを出力することができる。例えば、図17の商品番号001がオーダーされた時には、図18に示すようなメッセージが出力される。ここで、ユーザがOKした場合には、配布された旧バージョンのソフトに対応する

【0045】導入キーNo. が通知される前に表示されるソフト毎の情報としては、他に、「バグがあります。それでもよろしければ購入願います。」「このソフトを購入されるのは2回目です。それでもよろしければ購入願います。」などがある。

【0046】本実施例において、図6のステップS24で通知した鍵番号の確認を行うのは、ユーザが鍵番号を誤って記憶することを防ぐためである。この鍵確認の入力画面を再び図示すると図19のようになる。例えば、ユーザが導入キーNo. を誤ってメモした場合には、確認のため入力した導入キーNo. が通知されたものと異なるため、受付機能部34が誤りを検出することができる。

【0047】以上の実施例では、ユーザは、CD-ROM鍵開センタ31から通知された鍵をメモし、それをキーボードから鍵付CD-ROMシステム21に入力して、鍵開機能部24にCD-ROMの鍵開けを行わせる。しかし、この方法では鍵番号を一旦メモ用紙等にメモしなければならない。その代わりに、CD-ROM鍵開センタ31から通知された鍵をユーザがファイルに記録することにより、鍵開機能部24がそのファイルを自動的に読み込んで、商品の鍵開けを行う構成にすることもできる。

【0048】図20は、CD-ROM鍵開センタ31から通知された情報を記録したTEXTファイルの例を示している。ユーザは、PC通信ソフト25の持つ通信ログの一部をファイルに書き出す機能を用いて、図20のようなTEXTファイルを作成し、鍵開機能部24はTEXTファイルに記述された導入キーNo. を自動的に読み取って、CD-ROMの鍵開けを行う。

【0049】また、CD-ROM鍵開センタ31から通知された鍵をユーザがファイルに記録する代わりに、PC通信ソフト25が通信ログの内容を自動的にファイルに格納する構成も可能である。この場合は、一般のPC通信ソフト25で用意されているオートパイロット機能を用いて、例えば図21のAからBまでをファイルに格納するオートパイロット・スクリプトを、鍵付CD-ROMシステム21内に用意する。通信ログ内におけるA、Bの位置は、それぞれ「今回のご依頼」、「導入代

金」という文字列を検索することにより、自動的に特定される。鍵開機能部24は、こうして作成されたファイルから導入キーNo. を読み取って、CD-ROMの鍵開けを行う。

【0050】この方法によれば、鍵付CD-ROMシステム21が鍵の受信と鍵開けを自動的に行ってくれるので、ユーザの負担が軽減される。次に、図3のデータベース32に格納される各種テーブルのレコードについて説明する。

10 【0051】図22は、アクティブコンテンツテーブルのレコードを示している。このテーブルのテーブル名はTB ACTIVE CONTEXTで、ユーザから指定されたCD番号およびコンテンツ番号（商品番号または作品番号）からソフト鍵を割り出すために使用される。また、ユーザから指定されたコンテンツ番号から販売形態および価格を割り出すためにも使用される。

20 【0052】このテーブルの受渡し形式は1.4Mフロッピーディスク(CSV形式/SJIS)による。コンテンツ番号は、例えばTYPEとLEVELをマージしたものとする。ファイル名はCD9508.CSVとし、これで既存テーブルをアップデートする。CD番号+コンテンツ番号が連結キーとなり、一意に決まる。

【0053】図22において、受付機能部34は、価格切替え年月日を見て販売価格を決定する。価格切替え日の時刻00:00に価格を切り換え、価格切替え年月日が0の時は旧価格を使用する。

【0054】販売形態区分の内容は以下の通りである。
1: ユーザが同一ならマシンID(MID)によらず2回目以降は無料。一初回は有料。2回目は無料。以後何回やっても無料。

2: ユーザが同一ならマシンIDによらず5回目まで無料。以降禁止。

【0055】一初回~5回目まで無料。6回目は禁止。以降禁止。

3: ユーザが同一でマシンIDも同一なら2回目以降は無料。一初回は有料。2回目は無料。以後何回やっても無料。

4: ユーザが同一でマシンID同一なら5回目まで無料以降禁止。

40 【0056】一初回~5回目まで無料。6回目は禁止。以降禁止。

5: マシンID同一ならユーザによらず2回目以降は無料。一初回は有料。2回目は無料。以後何回やっても無料。

6: マシンID同一ならユーザによらず5回目まで無料。以降禁止。

【0057】一初回~5回目まで無料。6回目は禁止。以降禁止。

7: 2回目以降は無条件に有料。一ユーザID、マシンIDによらずいつも有料。初回目も2回目も有料。

8 : 2 回目以降は無条件に禁止。

【 0 0 5 8 】一初回は有料。すでにそのユーザ I D で導入済みならばマシン I D によらず 2 回目以降は禁止。

9 : 無料。

【 0 0 5 9 】一ユーザ I D、マシン I D に係わらずいつでも無料。価格フィールドの値が 0 でなくても無料にする。

1 0 : ユーザが同一なら、マシン I D によらず 2 回目にはメッセージ出力して有料。

【 0 0 6 0 】一初回はメッセージ出力しないで有料。2 回目にはメッセージを表示するだけで、購入は問い合わせない。

1 1 : 1 回目の購入でも指定メッセージを出して、購入を問い合わせる。

【 0 0 6 1 】一ユーザ I D、マシン I D によらず常にメッセージを出力して、購入を問い合わせる。禁止の時は、「鍵明けできません。X X X X (X X X X = S H B 0 0 9 0 6) にメールを下さい。」というメッセージを出力する。

【 0 0 6 2 】再販区分の内容は以下の通りである。

1 : 再販あり。

0 : 再販なし。

【 0 0 6 3 】緊急販売停止区分の内容は以下の通りである。

1 : 緊急停止。

0 : 緊急停止なし。

【 0 0 6 4 】図 2 3 は、購入履歴テーブルのレコードを示している。このテーブルのテーブル名は T B P U R C H A S E L O G で、同一 N I F T Y - I D または同一マシン I D で、複数回アクセスがあった場合のチェックに使用される。また、既購入ソフト表示の時にも使用される。尚、このテーブルは運用時に追加／削除される。図 2 3 において、購入金額は購入した時の価格が記録される。

【 0 0 6 5 】図 2 4 は、アクティブ顧客テーブルのレコードを示している。このテーブルのテーブル名は T A B L E T B A C T I V E C U S T O M E R で、ログイン時のブラックリストチェックに使用される。また、キーボード入力時の補助にも使用される。例えば、2 回目のアクセス時は名前等の既知情報がここから取り出される。このテーブルは運用時に追加／削除される。アクティブ顧客テーブルは、さらに月別の課金 M A X 値チェックに必要である。月度合計が課金リミットを超えていたら N G とする。図 2 4 において、与信フラグの内容は以下の通りである。

【 0 0 6 6 】「 B 」が設定されていれば、ブラック顧客で販売禁止。「 0 」が設定されていれば、標準の限度額。当月累計購入額が与信枠の項目に設定されている値以下であれば販売可能。購入依頼のあった商品の合計 + 当月購入金額を当月累計購入額として判定する。

【 0 0 6 7 】「 1 」が設定されていれば、エクゼクティブ顧客。当月累計購入額が与信枠の項目に設定されてい

る値以下であれば販売可能。プログラム処理は「 0 」と同様である。

【 0 0 6 8 】「 T 」が設定されていれば、テスト用 I D 顧客。枠に制限なし。したがって、請求処理も対象外となる。また、受付機能部 3 4 は、与信切替年月日によってユーザに対する与信額を切替える。与信切替年月日の時刻 0 0 : 0 0 をもって与信額を切替え、与信切替日が 0 の時は旧与信額を使用する。購入金額切替日は使用せず、C R O N で特定の日に、それまでの当月購入金額、前月購入金額に C O P Y し、当月購入金額を 0 とする。また、使用機種名数が 5 を超えた場合、使用機種名 1 のみを漸次書き換える。

【 0 0 6 9 】図 2 5 は、課金ログテーブルのレコードを示している。このテーブルのテーブル名は T B C H A R G E L O G で、このテーブルは E D P に渡される。既購入の場合は金額を - 1 として渡し、無料の場合は金額を 0 として渡す。また、このテーブルは運用時に追加／削除される。

【 0 0 7 0 】図 2 6 は、エラーログテーブルのレコードを示している。このテーブルのテーブル名は T A B L E T B E R R O R L O G で、エラー監視に使用される。このテーブルは運用時に追加／削除される。

【 0 0 7 1 】図 2 6 において、エラー理由の内容は以下の通りである。

1 : ブラックリスト

2 : I D 違い

3 : パースエラー

4 : 該当ソフトなし

5 : 課金 M A X 値違反

6 : 緊急停止アクセス

7 : 販売期間 (再販も含む) エラー

8 : 販売形態違反

9 : 鍵生成エラー

1 0 : 鍵確認エラー

1 1 : 他システムエラー

図 2 7 は、アクセスログテーブルのレコードを示している。このテーブルのテーブル名は T A B L E T B A C C E S S L O G で、C D - R O M 鍵開センタ 3 1 に対するアクセスの統計データ取得のために使用される。

【 0 0 7 2 】以上の実施例においては、鍵付記憶媒体として C D - R O M を例に取って説明したが、本発明は、販売者が鍵を掛けることのできる他の任意の記憶媒体にも同様に適用される。その場合にも、ユーザが、記憶媒体内の商品の識別子やアクセス番号等を記述したオーダーファイルを鍵開センタに送ることにより、鍵開センタから対応する鍵が通知される。他の記憶媒体としては、例えば、フロッピーディスク、メモ리카ード、光磁気ディスクが挙げられる。

【 0 0 7 3 】また、鍵付記憶媒体に格納される情報は、画像データ、音楽データ、プログラム等に限りなく、任

意のソフトウェア情報がその対象となる。

【0074】

【発明の効果】本発明によれば、ユーザに配布されたCD-ROM等の鍵付媒体内の情報をオンラインで販売することが可能になる。この際、ユーザは鍵開センタと対話しながら、記憶媒体内の情報の暗号解除を含むきめ細かなサービスを受けることができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の原理図である。

【図2】CD-ROMソフトの販売形態を示す図である。

【図3】実施例のシステム構成図である。

【図4】CD-ROM鍵開処理のフローチャート（その1）である。

【図5】CD-ROM鍵開処理のフローチャート（その2）である。

【図6】CD-ROM鍵開処理のフローチャート（その3）である。

【図7】一般通信ソフト上の表示画面を示す図（その1）である。

【図8】一般通信ソフト上の表示画面を示す図（その2）である。

【図9】一般通信ソフト上の表示画面を示す図（その3）である。

【図10】一般通信ソフト上の表示画面を示す図（その4）である。

【図11】一般通信ソフト上の表示画面を示す図（その5）である。

【図12】手入力の場合の表示画面を示す図（その1）である。

【図13】手入力の場合の表示画面を示す図（その2）である。

【図14】手入力の場合の表示画面を示す図（その3）である。

【図15】既知情報を省略する場合の表示画面を示す図である。

【図16】送信メールと受信メールを示す図である。

【図17】ソフト毎の情報を示す図である。

【図18】バージョンアップ済みの場合の表示画面を示す図である。

【図19】鍵番号の確認のための表示画面を示す図である。

【図20】鍵番号をファイルに記録する場合を示す図である。

【図21】通信ログの内容の表示画面を示す図である。

【図22】アクティブコンテンツテーブルのレコードを示す図である。

10 【図23】購入履歴テーブルのレコードを示す図である。

【図24】アクティブ顧客テーブルのレコードを示す図である。

【図25】課金ログテーブルのレコードを示す図である。

【図26】エラーログテーブルのレコードを示す図である。

【図27】アクセスログテーブルのレコードを示す図である。

20 【符号の説明】

1 通信手段

2 会話手段

3 鍵生成手段

4 情報格納手段

11、12、13、32 データベース

14、31 CD-ROM鍵開センタ

15 NIFTYセンタ

16 PC通信網

17 CD-ROM

30 21 鍵付CD-ROMシステム

22 商品選択機能部

23 オーダー出力機能部

24 鍵開機能部

25 PC通信ソフト

33 ゲートウェイ

34 受付機能部

35 鍵システム

36 勘定システム

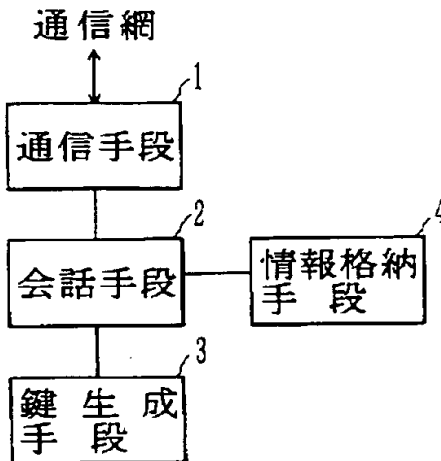
【図27】

アクセスログテーブルのレコードを示す図

	レコード名 タイプ
1 年月日:	DATE_YYYYMMDD NUMBER(8).
2 時分秒:	TIME_HHMMSS NUMBER(6).
3 NIFTY-ID:	NIFTY_ID CHAR(8).
4 ログイン/ログアウト区分:	SESSION_CLASS CHAR(1).
5 サービスID:	SERVICE_ID NUMBER(3) /*操作の必要なし*/

【図1】

本発明の原理図



【図8】

一般通信ソフト上の表示画面を示す図(その2)

導入ファイルをテキストモードでアップロードして下さい。

```
<NIFTY-ID>AAAAAAA</NIFTY-ID>    /*必須*/
<NAME>加藤 念</NAME>
<ZIP>213</ZIP>
<ADDR>川崎市高津区新作A-A-A</ADDR>
<TEL>044-777-1111</TEL>
<CDNO>1234</CDNO>                  /*必須*/
<ACCNO>0946-061-921</ACCNO>        /*必須*/
<PNO>101</PNO>                      /*必須*/
<PNO>205</PNO>
/E
```

/* 必須でないものがない場合は、<NAME></NAME>となる。 */

以下の確認をお願いします。

- (1) NIFTY-ID:AAAAAAA
- (2) お名前:加藤 念
- (3) 郵便番号:213
- (4) 住所:川崎市高津区新作A-A-A
- (5) 電話番号:044-777-1111
- (6) CD番号:1234
- (7) アクセス番号:0946-061-921
- (8) 作品番号1:101 /*ここは10行ごとに表示*/
- (9) 作品番号2:201 /*作品はMax 899 */

確認 (1:OK 2:修正 3:中止)

: 2

修正する番号を入力してください。

>2

(2) お名前:加藤 念

入力してください。

>加藤 稔

(2) お名前:加藤 稔

確認 (1:OK 2:修正 E:中止)

: 1

さらに修正しますか。

修正(1:しない 2:する)

: 1

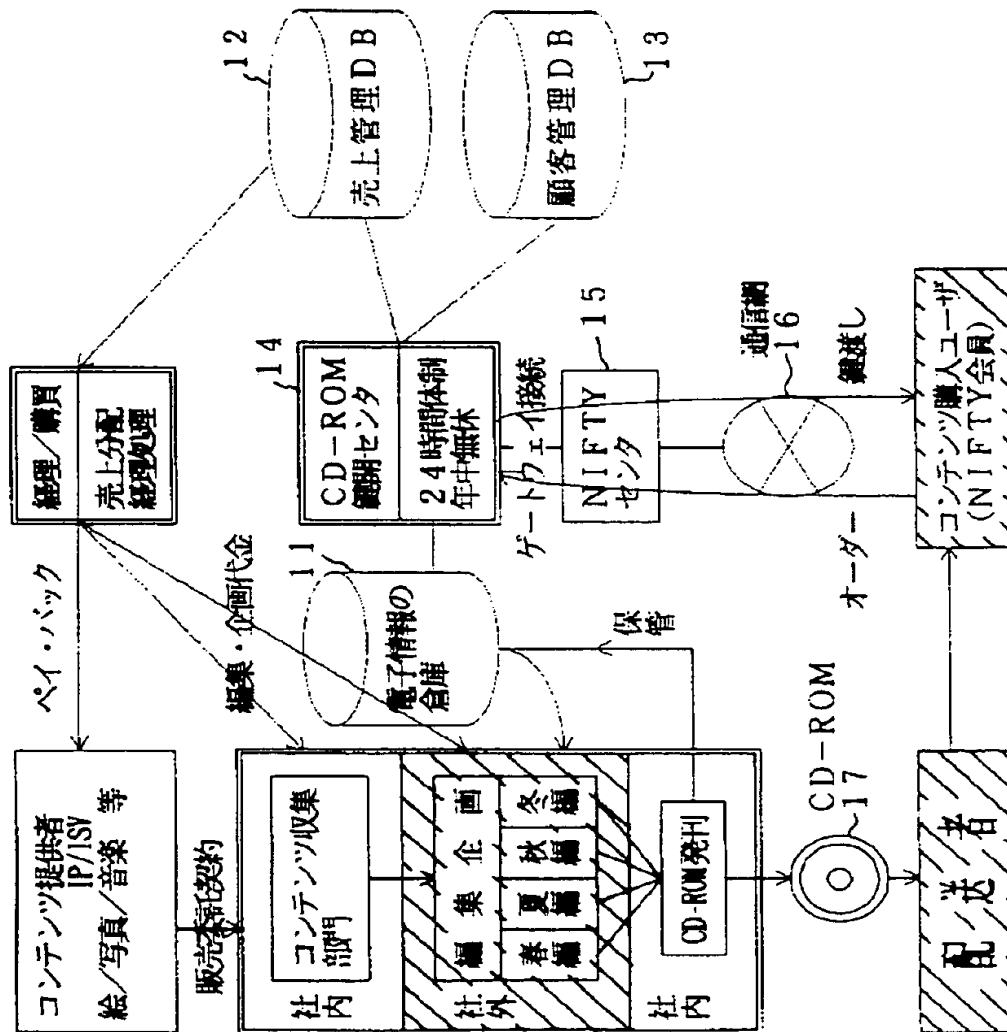
【図23】

購入履歴テーブルのレコードを示す図

レコード名 タイプ

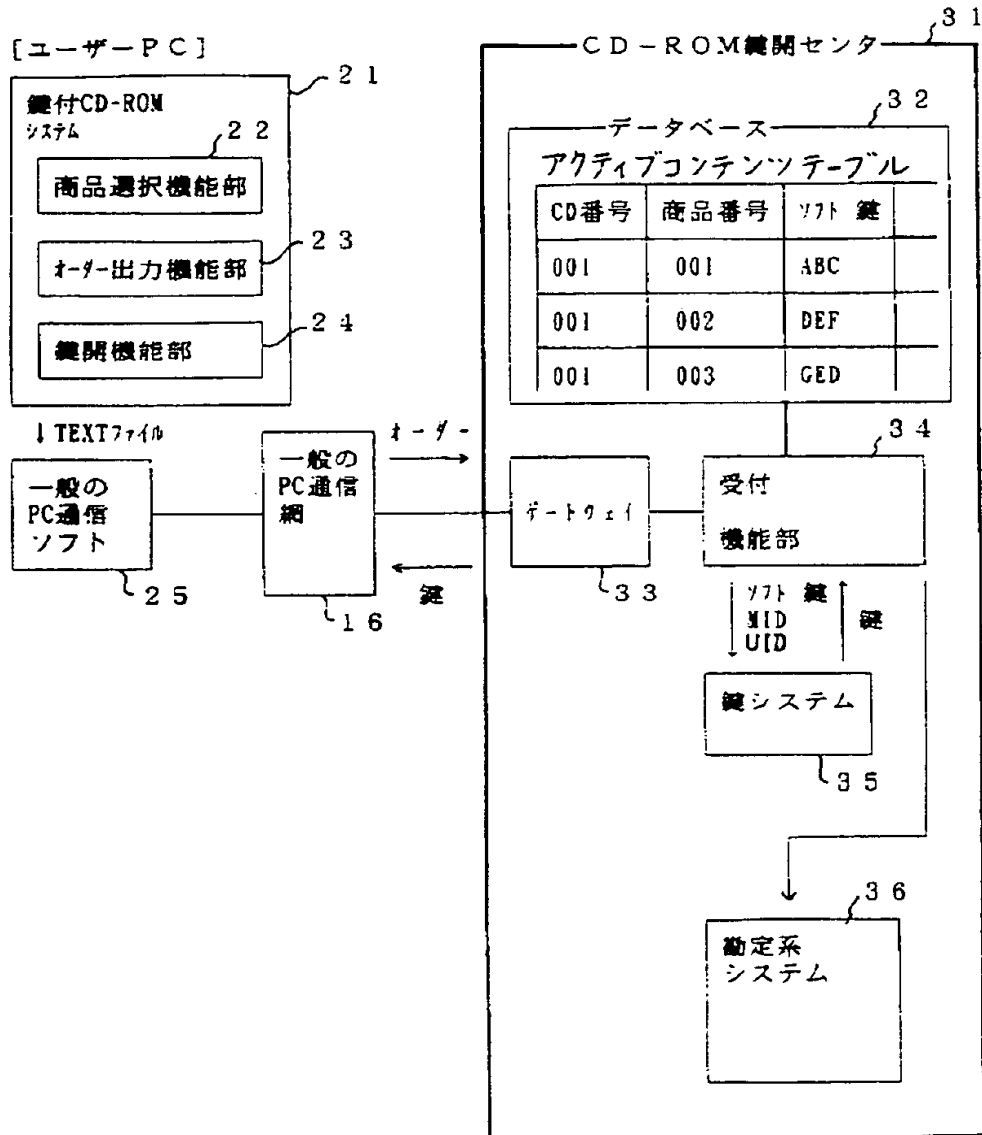
1 NIFTY-ID:	NIFTY_ID CHAR(8).	
2 マシンID:	MACHINE_ID NUMBER(10).	
3 CD番号:	CD_NO CHAR(4).	
4 作品番号:	WORK_NO CHAR(4).	
5 枝番:	BRANCH_NO NUMBER(3).	/*DEFAULTは空 操作の必要なし。*/
6 年月日:	DATE_TYYMMDD NUMBER(8).	
7 作品価格:	WORK_ABBREV CHAR(40).	
8 購入金額:	BUY_MONEY NUMBER(6).	
9 購入受付回数:	BUY_RECEIPT_TIMES NUMBER(3).	/*金額の発生しないものも含む*/
10 購入回数:	BUY_TIMES NUMBER(3).	/*金額の発生したもの*/

CD-ROMソフトの販売形態を示す図



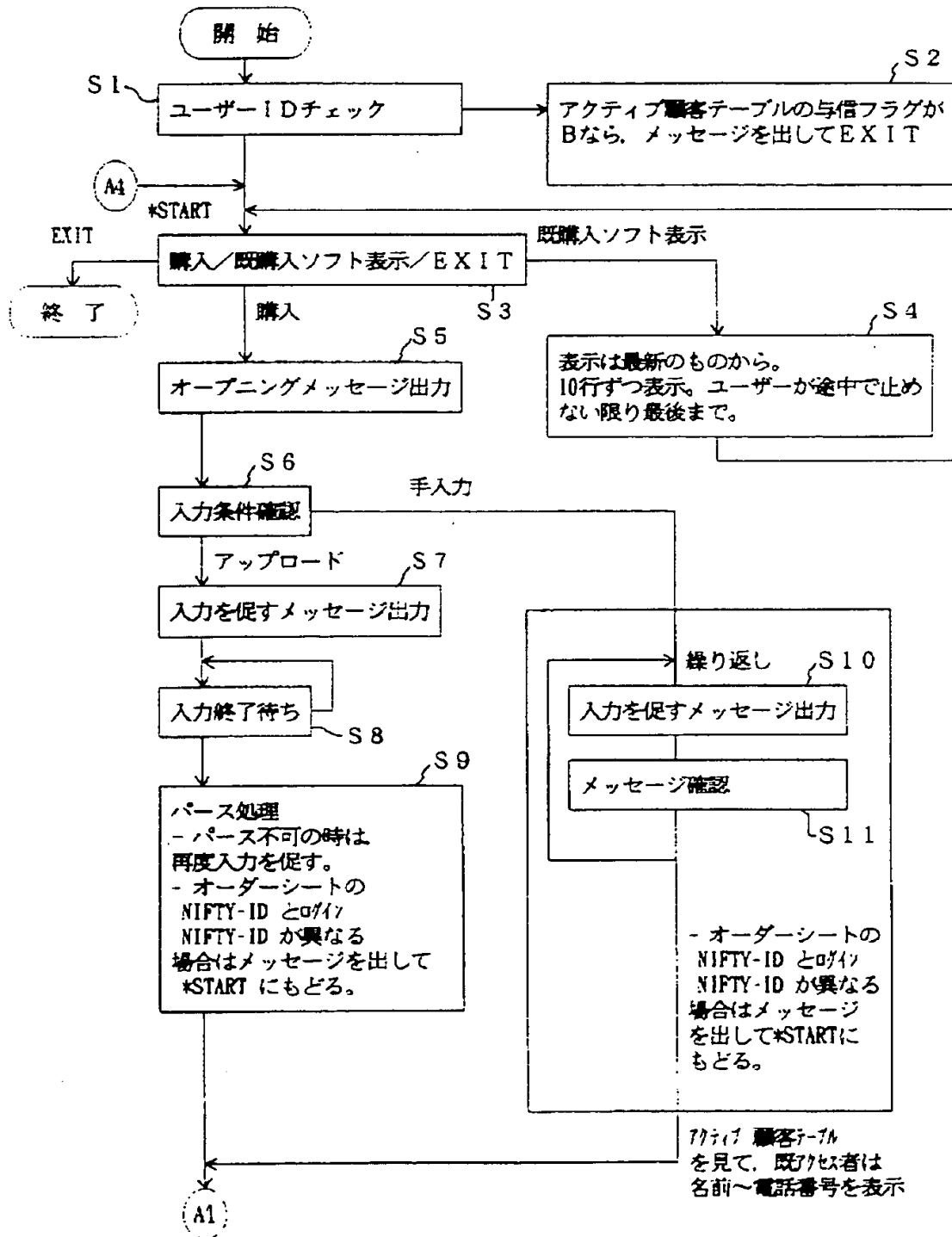
【図3】

システム構成図



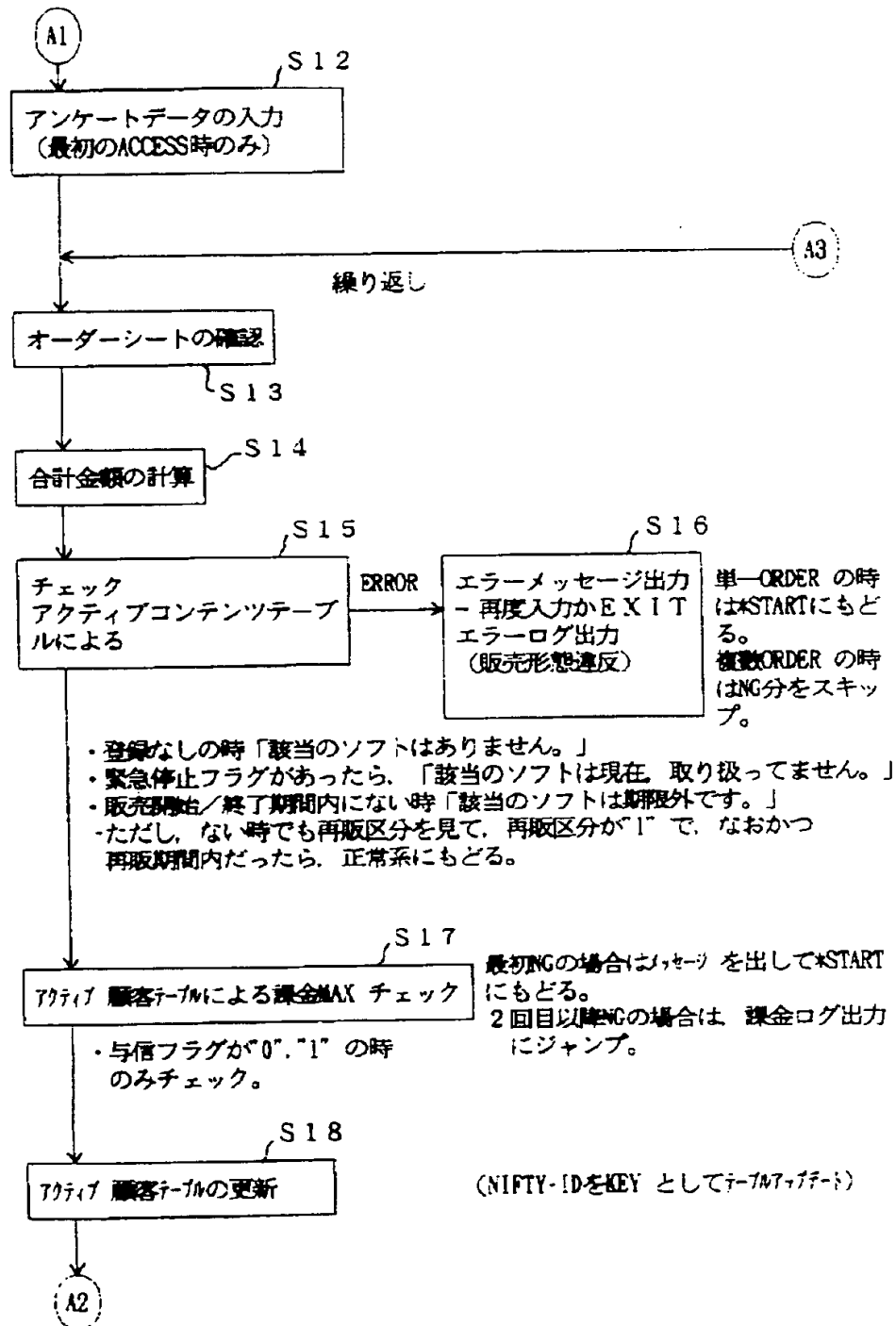
【 図 4 】

CD-ROM鍵開処理のフローチャート (その1)

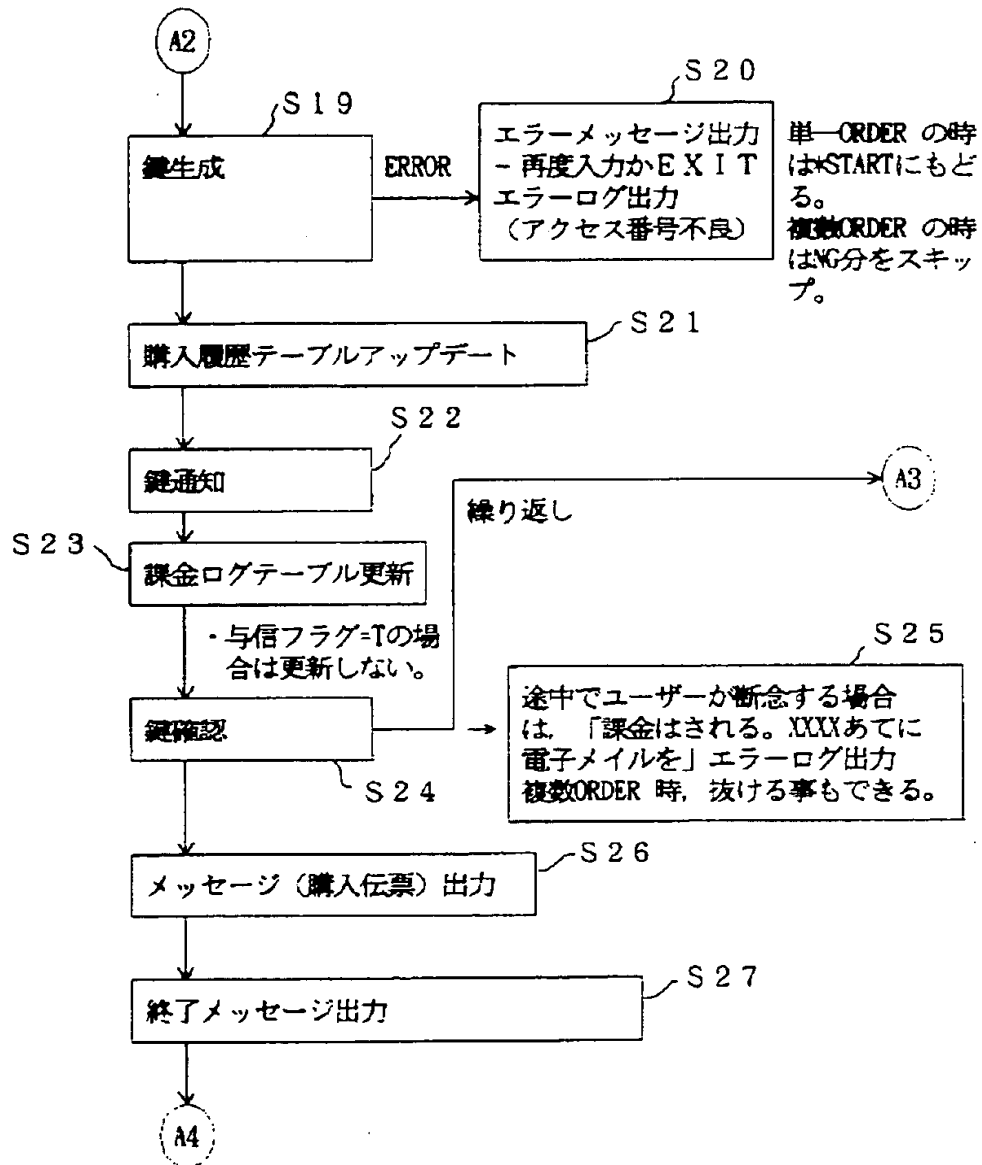


【図5】

CD-ROM鍵開処理のフローチャート(その2)



CD-ROM鍵開処理のフローチャート(その3)



【図7】

一般通信ソフト上の表示画面を示す図(その1)

コンピューター・ハードウェア

- | | |
|--------------------------|-----------------------|
| 1. PC-TECH | 2. ソフトランド・巨港通街 |
| 3. PCワークショップ | 4. ソフトウエア・ガーデン |
| 5. 富士通専門店「アクセス」 | 5. マイクロハウス |
| 7. 電気の総合雑貨店「電気倶楽部」 | 9. パソコンショップ「清閑」 |
| 9. Computer Station「ICS」 | 10. YAC フロンティア神代ショップ |
| 11. ソフトクリエイト | 12. DCS/V 専門店「ブルースター」 |
| 13. LAOX/コンピュータ館ダイレクト | 14. ビノキオ |
| 15. ソニーショップ・エルコム | 15. IC-WORLDオンラインショップ |
| 17. 「Media Shuttle」 | |

>17

ようこそ、MediaShuttleサービスへ。

MSHUTTL6(MSH)

1. お知らせ
2. サービスの使い方
3. サービスを受ける

>3

ただいま接続中です。しばらくお待ち下さい。

MediaShuttle にご乗船いただき、ありがとうございます。

さあ、これから MediaShuttle 自慢の域内サービス。

豊富なメニュー、ボリュームたっぷりの各種優良コンテンツ・作品をお楽しみください。

それでは、MediaShuttle 内の作品を、あなたのパソコンにインストールするための
最初の手続きです。

>>>>> Have A Nice Trip !!! <<<<<

インストールするために必要な導入キー No. を取得される方は 1、
いままでに導入キー No. を取得された作品の一覧を表示される方は 2、
ここで手続きを終了される方は 3 をご入力ください。

入力 (1:導入キー No. の取得 2:作品の一覧表示 3:終了)

>1

導入キー No. を取得するための手続きには2つの方法があります。/※ここは固定で可
(詳しくは OLTJ 95年 3月号の紹介記事をご覧ください。)

既に作った導入ファイルを見て、このまま画面上でキーボード入力される方は 1、

既に作った導入ファイルをテキストアップロードする方法で手続きされる方は 2、

ここで手続きを中止される方は 3 をご入力ください。

入力 (1:キーボード入力 2:テキストアップロード 3:中止)

>2

【図 9】

一般通信ソフト上の表示画面を示す図 (その3)

生年月日を、西暦で入力してください。(改行でスキップ可)

入力例: 1970/01/01

>1965/08/01

生年月日:1966/08/01

確認 (1:OK 2:修正 E:中止)

: 1

性別を選択してください。(改行でスキップ可)

選択肢: 1. 男性 2. 女性

>1

性別:1

確認 (1:OK 2:修正 E:中止)

: 1

御使用のパソコンの機種を入力して下さい。(漢字で8文字以内)(改行でスキップ可)

>FM-TOWNS-MX

機種:FM-TOWNS-MX

確認 (1:OK 2:修正 E:中止)

: 1

クレジットカードの種別を入力して下さい。(改行でスキップ可)

クレジットカード種別 (1:JCB 2:DC 3:VISA 4:ミリオン

5:UC 6:CF 7:アメリカン・エクスプレス

8:ダイナース 9:日本信販 10:JACCS

11:オリエント 12:セゾン 13:NIFTY-オリコカード

14:NIFTY-JCBカード)

>1

クレジットカード:1

確認 (1:OK 2:修正 E:中止)

: 1

作品番号を確認いたします。

作品番号 作品名

101

CALC/Win Lite V2.0

確認 (1:OK 2:修正 E:中止)

: 1

【図 1 0】

一般通信ソフト上の表示画面を示す図 (その 4)

ご依頼の導入キーNo. は下記の通りです。
この導入キーNo. は作品のインストールに必要ですのでメモしておいて下さい。

導入キーNo.	作品名
1234-567-890	CALC/Win Lite V2.0

確認のため導入キーNo. を入力して下さい。
:1234-567-890

確認OKです。

作品番号を確認いたします。

作品番号	作品名
205	MRDB for WindowsV1.1

確認 (1:OK 2:修正 E:中止)
: 1

ご依頼の導入キーNo. は下記の通りです。
この導入キーNo. は作品のインストールに必要ですのでメモしておいて下さい。

導入キーNo.	作品名
1234-567-891	MRDB for WindowsV1.1

確認のため導入キーNo. を入力して下さい。
:1234-567-891

確認OKです。

【図11】

一般通信ソフト上の表示画面を示す図(その5)

今回のご依頼の作品導入リストは下記の通りです。

1. NIFTY-ID: AAAAAAA
 2. 名前 : 加藤 悠
 3. 郵便番号: 213
 4. 住所 : 川崎市高津区新作A-A
 5. 電話番号: 044-777-1111
 6. CD番号 : 1234
 7. 7777番号: 0948-061-921

作品番号	導入キーNo.	作品名
101	1234-567-890	CALC/Win Lite V2.0
205	1234-567-891	MRDB for Windows V1.1

導入代金(1111円)はNifty-Serve使用料金に加算されてひきおとされます。

御利用ありがとうございます。

※入力 (1:導入キー No. の取得 2:作品の一覧表示 E:終了)
 > 1

【図14】

手入力の場合の表示画面を示す図(その3)

ご依頼の導入キーNo. は下記の通りです。
 この導入キーNo. は作品のインストールに必要ですのでおいて下さい。

導入キーNo.	作品名
1234-567-890	CALC/Win Lite V2.0

確認のため導入キーNo. を入力して下さい。
 : 1234-567-890
 確認OKです。

さらに導入しますか。
 入力(1:さらに導入 2:導入終了)

: 1

作品番号を入力下さい。

～以下同文

【図18】

バージョンアップ済の場合の表示画面を示す図

作品番号を確認いたします。

本ソフトは既にバージョンアップ済です。
 それでもよければ購入願います。

作品番号	作品名
001	CALC/Win Lite V2.0

確認 (1:OK 2:修正 E:中止)
 : E

【図25】

課金ログテーブルのレコードを示す図

レコード名	タイプ
1 NIFTY-ID:	NIFTY_ID CHAR(8).
2 マシンID:	MACHINE_ID NUMBER(10).
3 CD番号:	CD_NO CHAR(4).
4 作品番号:	WORK_NO CHAR(3).
5 枝番:	BRANCH_NO NUMBER(3).
6 年月日	DATE_YYYYMMDD NUMBER(8).
7 時分秒	TIME_HHMMSS NUMBER(6).
8 購入金額	BUY_MONEY NUMBER(5).
9 フレグメント会社種別	CR_COMPANY CHAR(2).
10 フレグメント番号	CR_NO CHAR(19).
11 氏名	USR_NAME CHAR(20).
12 性別	SEX CHAR(1). 1桁
13 生年月日	BIRTH_DAY NUMBER(8).
14 年齢	AGE NUMBER(3). 桁
15 使用機種名1	MACHINE_NAME1 CHAR(16).
16 使用機種名2	MACHINE_NAME2 CHAR(16).
17 使用機種名3	MACHINE_NAME3 CHAR(16).
18 使用機種名4	MACHINE_NAME4 CHAR(16).
19 使用機種名5	MACHINE_NAME5 CHAR(16).
20 郵便番号	ZIP_CODE CHAR(6).
21 住所	USR_ADDRESS CHAR(140).
22 電話番号	USR_TEL CHAR(14).
23 アクセス番号	ACCESS_NO NUMBER(10).
24 導入キーNo.	INTRO_KEY_NO NUMBER(10)

【図12】

【図21】

手入力の場合の表示画面を示す図 (その1通信ログ内容の表示画面を示す図)

入力 (1:キーボード入力 2:テキストアップロード E:中止)
>1

NIFTY-IDを入力下さい。

>AAAAAAAA

NIFTY-ID:AAAAAAAA

確認 (1:OK 2:修正 E:中止)
:1

お名前を入力下さい。

>加藤 念

お名前:加藤 念

確認 (1:OK 2:修正 E:中止)
:1

CD番号を入力して下さい

>1234

CD番号:1234

確認 (1:OK 2:修正 E:中止)
:1

アクセス番号を入力下さい。

>0946-061-921

アクセス番号:0946-061-921

確認 (1:OK 2:修正 E:中止)
:1

生年月日を、西暦で入力してください。(改行でスキップ可)

入力例:1970/01/01

>1966/08/01

生年月日:1966/08/01

確認 (1:OK 2:修正 E:中止)
:1

性別を選択してください。(改行でスキップ可)

選択肢: 1. 男性 2. 女性

>1

性別:1

確認 (1:OK 2:修正 E:中止)
:1

A → 今回の登録の作品購入リストは下記の通りです。

1. NIFTY-ID: AAAAAA
2. 名前: 加藤 念
3. 郵便番号: 213
4. 住所: 川崎市高津区新庄A-A
5. 電話番号: 044-777-1111
6. CD番号: 1234
7. アクセス番号: 0946-061-921

作品番号 購入キーNo. 作品名

101 1234-567-890 CALC/Win Lite V2.0
205 1234-567-891 MSDOS for WindowsV1.1

B → 購入代金(XXXX円)はNifty-Serve使用料金に計算されてひきおとされます。

【図 1 3】

手入力の場合の表示画面を示す図 (その 2)

御使用のパソコンの機種を入力して下さい。(漢字で8文字以内)(改行でスキップ可)

>FM-TOWNS-MX

機種:FM-TOWNS-MX

確認 (1:OK 2:修正 3:中止)

: 1

クレジットカードの種別を入力して下さい。(改行でスキップ可)

クレジットカード種別 (1:JCB 2:DC 3:VISA 4:ミリオン

5:UC 6:CP 7:アメリカン・エクスプレス

8:ダイナース 9:日本信販 10:JACCS

11:オリエント 12:セゾン 13:NIFTY-オリコカード

14:NIFTY-JCBカード)

> 1

クレジットカード: 1

確認 (1:OK 2:修正 3:中止)

: 1

作品番号を入力下さい。

> 101

作品番号を確認いたします。

作品番号

作品名

101

CALC/Win Lite V2.0

確認 (1:OK 2:修正 3:中止)

: 1

【図15】

既知情報を省略する場合の表示画面を示す図

入力 (1:キーボード入力 2:テキストアップロード E:中止)
>1

NIFTY-IDを入力下さい。

>AAAAAAAA

NIFTY-ID:AAAAAAAA

確認 (1:OK 2:修正 E:中止)
:1

以下の確認をお願いします。

- (1) NIFTY-ID:AAAAAAAA
- (2) お名前:加藤 稔
- (3) 郵便番号:213
- (4) 住所:川崎市高津区新作A-A-A
- (5) 電話番号:044-777-1111
- (6) CD番号:1234
- (7) アクセス番号:0946-061-921

確認 (1:OK 2:修正 E:中止)
:1

作品番号を入力下さい。

>101

作品番号を確認いたします。

作品番号	作品名
101	CALC/Win Lite V2.0

確認 (1:OK 2:修正 E:中止)
:1

【図 1 6】

送信メールと受信メールを示す図

SUB: 録付CD-ROMオーダー
TO: CDROMHOST

送信メール

<NIFTY-ID>AAAAAAA</NIFTY-ID> /*必須*/
<NAME>加藤 念</NAME>
<ZIP>213</ZIP>
<ADDR>川崎市高津区新作A-A-A</ADDR>
<TEL>044-777-1111</TEL>
<CDNO>1234</CDNO> /*必須*/
<ACCNO>0945-061-921</ACCNO> /*必須*/
<PNO>101</PNO> /*必須*/
<PNO>205</PNO>
/E

受信メール

加藤 念殿

ご購入の作品の導入キーNoは下記の通りです。

作品番号	導入キーNo.	作品名
101	1234-567-890	CALC/Win Lite V2.0
205	1234-567-891	MRDB for WindowsV1.1

【図 1 9】

鍵番号の確認のための表示画面を示す図

ご依頼の導入キーNo. は下記の通りです。
この導入キーNo. は作品のインストールに必要ですのでメモしておいて下さい。

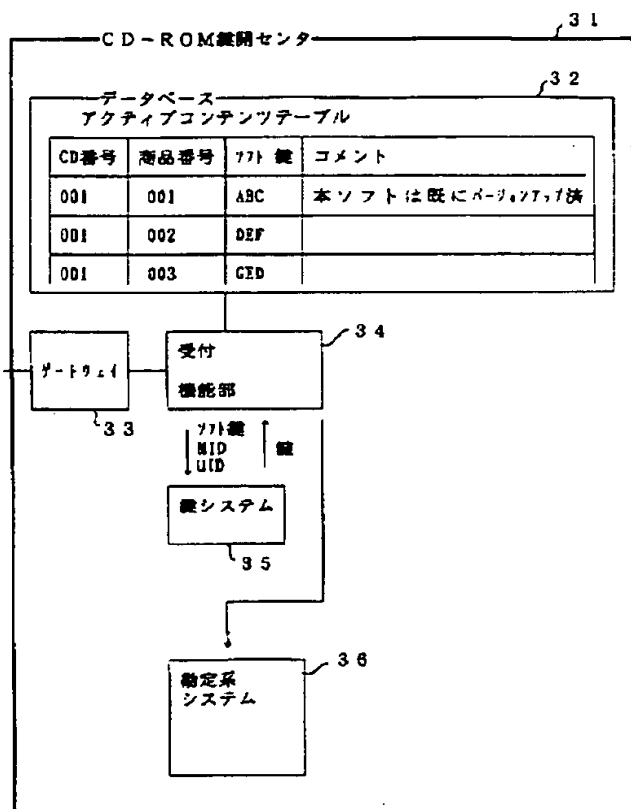
導入キーNo.	作品名
1234-567-890	CALC/Win Lite V2.0

確認のため導入キーNo. を入力して下さい。
:1234-567-890

確認OKです。

【 17 】

ソフト毎の情報を示す図



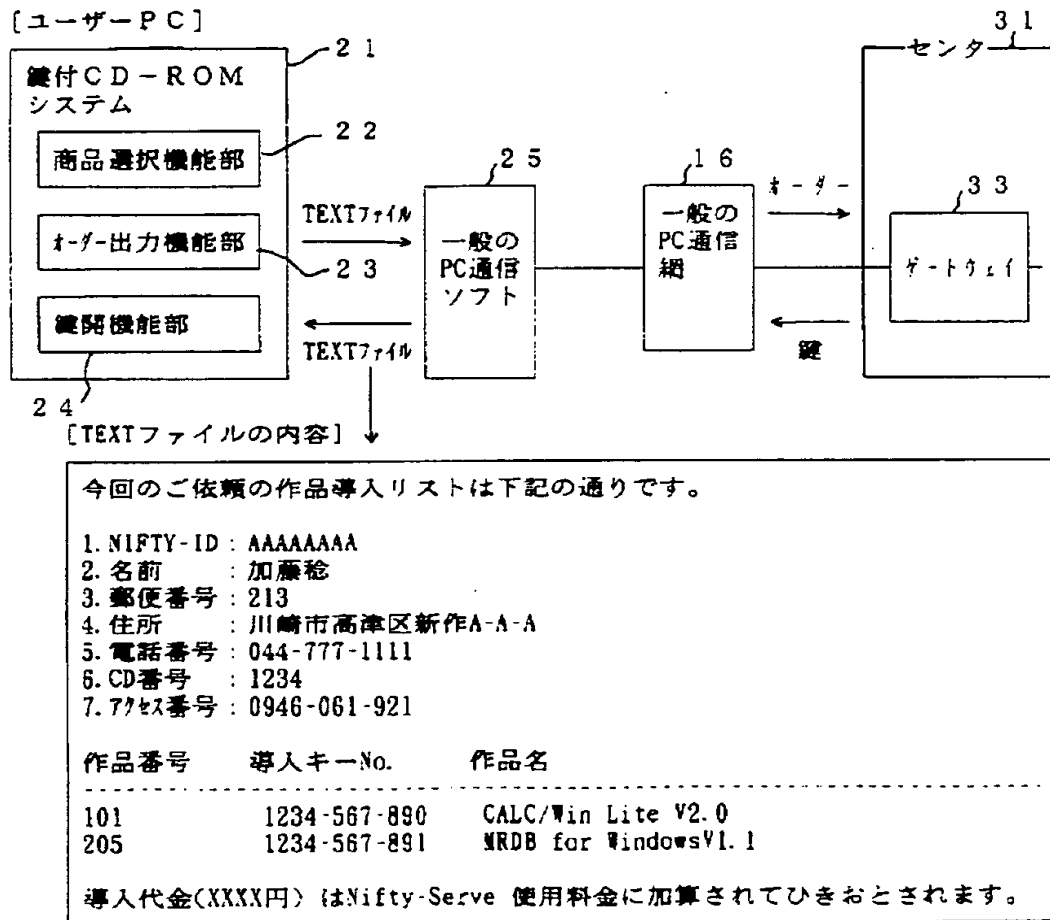
【 2 6 】

エラーログテーブルのレコードを示す図

	レコード名	タイプ
1	NIFTY-ID:	NIFTY_ID CHAR(8).
2	マシンID:	MACHINE_ID NUMBER(10).
3	CD番号:	CD_NO CHAR(4).
4	作品番号:	WORK_NO CHAR(3).
5	枝番:	BRANCH_NO NUMBER(9).
6	年月日	DATE_YYYYMMDD NUMBER(8).
7	時分秒	TIME_HHMMSS NUMBER(3).
8	購入金額	BUY_MONEY NUMBER(5).
9	クレジット会社種別	CR_COMPANY CHAR(2).
10	クレジット番号	CR_NO CHAR(19).
11	氏名	USR_NAME CHAR(20).
12	性別	SEX CHAR(1). 1桁
13	生年月日	BIRTH_DAY NUMBER(8).
14	年齢	AGE NUMBER(3). 桁
15	使用機種名1	MACHINE_NAME1 CHAR(16).
16	使用機種名2	MACHINE_NAME2 CHAR(16).
17	使用機種名3	MACHINE_NAME3 CHAR(16).
18	使用機種名4	MACHINE_NAME4 CHAR(16).
19	使用機種名5	MACHINE_NAME5 CHAR(16).
20	郵便番号	ZIP_CODE CHAR(6).
21	住所	USR_ADDRESS CHAR(160).
22	電話番号	USR_TEL CHAR(14).
23	アクセス番号	ACCESS_NO NUMBER(10).
24	導入キーNo.	INTRO_KEY_NO NUMBER(10).
25	エラー理由	ERROR_REASON NUMBER(10).

【図20】

鍵番号をファイルに記憶する場合を示す図



【図22】

アクティブコンテンツテーブルのレコードを示す図

	レコード名	タイプ
1 CD番号:	CD_NO	CHAR(4).
2 作品番号:	WORK_NO	CHAR(3).
3 作品略称:	WORK_ADDREV	CHAR(50). /*表示する時は"作品名"とする*/
4 販売用商品説明:	GOODS_EXPLAN	CHAR(80). /*メッセージ*/
5 企画シーケンスNo:	PLAN_NO	NUMBER(3). /*操作の必要なし*/
6 販売価格新:	NEW_PRICE	NUMBER(5).
7 販売価格旧:	OLD_PRICE	NUMBER(6).
8 価格切替え年月日:	PRICE_CHG_YYYYMMDD	NUMBER(8).
9 プロバイダ略称:	PROVIDER	CHAR(50). /*操作の必要なし*/
10 緊急販売停止区分:	URGENCY_STOP	CHAR(1).
11 販売開始年月日:	START_YYYYMMDD	NUMBER(8).
12 販売開始時分秒:	START_HHMMSS	NUMBER(6).
13 販売終了年月日:	STOP_YYYYMMDD	NUMBER(8).
14 販売終了時分秒:	STOP_HHMMSS	NUMBER(6).
15 再販区分:	AGAIN_START	CHAR(1).
16 再販開始年月日:	AGAIN_START_YYYYMMDD	NUMBER(8).
17 再販開始時分秒:	AGAIN_START_HHMMSS	NUMBER(6).
18 再販終了年月日:	AGAIN_STOP_YYYYMMDD	NUMBER(8).
19 再販終了時分秒:	AGAIN_STOP_HHMMSS	NUMBER(6).
20 ソフト鍵:	SOFT_KEY	CHAR(8).
21 登録年月日:	REGIST_YYYYMMDD	NUMBER(8).
22 更新年月日:	UPDATE_YYYYMMDD	NUMBER(8).
23 更新時分秒:	UPDATE_HHMMSS	NUMBER(6).
24 更新者コード:	UPDATE_PCODE	CHAR(8). /*操作の必要なし*/
25 販売区分:	SALE_CLASS	CHAR(1). /*操作の必要なし*/
26 販売形態区分:	SALE_FORM	CHAR(2).
27 販売戦略区分:	SALE_STRTGY	CHAR(1). /*操作の必要なし*/
28 販売戦略詳細区分:	SALE_STRTGY_DTL	CHAR(1). /*操作の必要なし*/

【図24】

アクティブ顧客テーブルのレコードを示す図

レコード名 タイプ	
1 NIFTY-ID:	NIFTY_ID CHAR(8) UNIQUE,
2 クレジット種別:	CR_CARD CHAR(2),
3 クレジット番号:	CR_NO CHAR(19),
4 氏名:	USR_NAME CHAR(20), 10桁
5 郵便番号:	ZIP_CODE CHAR(6), 6桁
6 住所:	USR_ADDRESS CHAR(160),
7 電話番号:	USR_TEL CHAR(14), 14桁
8 使用機種名1:	MACHINE1 CHAR(16), 8桁
9 使用機種名2:	MACHINE2 CHAR(16), 8桁
10 使用機種名3:	MACHINE3 CHAR(16), 8桁
11 使用機種名4:	MACHINE4 CHAR(16), 8桁
12 使用機種名5:	MACHINE5 CHAR(16), 8桁
13 生年月日:	BIRTH_DAY NUMBER(8), 桁
14 年齢:	AGE NUMBER(3), 3桁
15 性別:	SEX NUMBER(1), 1桁
16 与信フラグ:	YOSHIN_FLAG CHAR(1), 桁
17 与信枠新:	NEW_YOSHIN NUMBER(7),
18 与信枠旧:	OLD_YOSHIN NUMBER(7),
19 与信切替年月日:	YOSHIN_CHG_YYYYMMDD NUMBER(8), /*DEFAULTはアクセス日付 */
20 前月購入金額:	LAST_MONTH_MONEY NUMBER(8),
21 当月購入金額:	MONTH_MONEY NUMBER(8),
22 購入金額切替日:	BUY_CHG_YYYYMMDD NUMBER(8), /*DEFAULTは空, 操作の必要なし */
23 更新年月日:	UPDATE_YYYYMMDD NUMBER(8), /*DEFAULTは空, 操作の必要なし */
24 更新時分秒:	UPDATE_HHMMSS NUMBER(6), /*DEFAULTは空, 操作の必要なし */
25 更新者コード:	UPDATE_PCODE CHAR(8)

フロントページの続き

(51) Int. Cl.	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
13/00	351	9460-5E	13/00	351 A
G09C 1/00	630	7259-5J	G09C 1/00	630 Z
	660	7259-5J		660 D
H04L 9/10			H04M 11/08	
H04M 11/08			H04L 9/00	621 Z

(28)

特開平 9 - 3 4 8 4 1

621 A